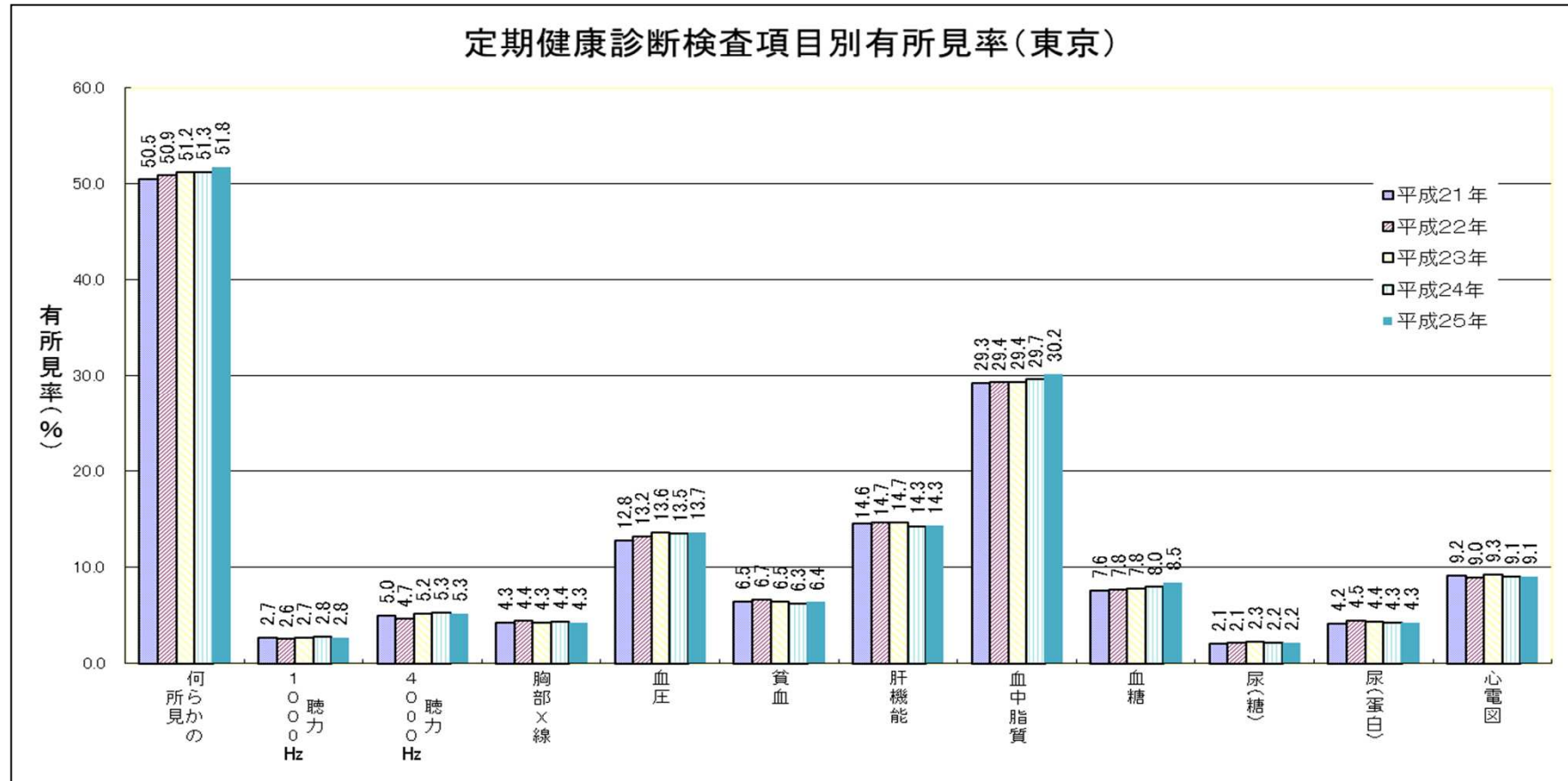


(別添2)

東京における労働衛生の現状

過去5年間の項目別有所見率等の推移
— 有所見率が半数を超えている定期健康診断 —

定期健康診断実施状況を見ると、何らかの所見のある割合が年々高くなっており、健康診断項目別に見ると、血中脂質、血圧及び肝機能の有所見率が高くなっています。



東京における労働衛生の現状

－ 増加傾向の業務上疾病 －

平成25年の東京労働局管内の業務上疾病(死亡及び休業4日以上。以下同じ)の発生件数は、災害性の腰痛が前年比で24.8%減少したこと等から、前年に比べ19.9%減少となりましたが、災害性の腰痛は業務上疾病全体の57.7%(全国56.3%)と依然として高い比率を占めています。

業務上疾病発生状況の推移

東京



東京における労働衛生の現状

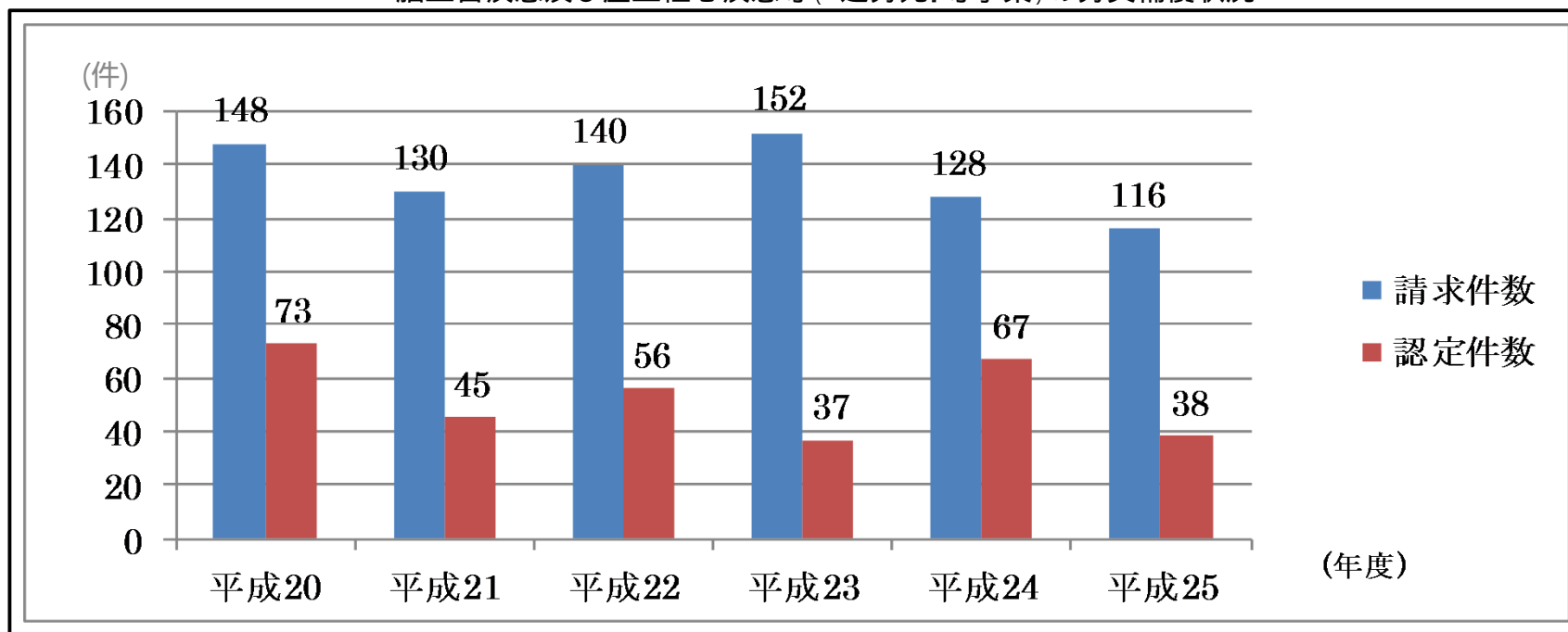
脳・心臓疾患、精神障害の労災認定件数の推移

近年、長時間労働やストレスなどによる過重労働が原因となって、脳血管疾患や心臓疾患、うつ病などの精神障害を引き起こすケース（「過労死」や「過労自殺」ともいわれます。）が多くみられます。

脳・心臓疾患の労災補償状況

東京

脳血管疾患及び虚血性心疾患等（「過労死」等事案）の労災補償状況



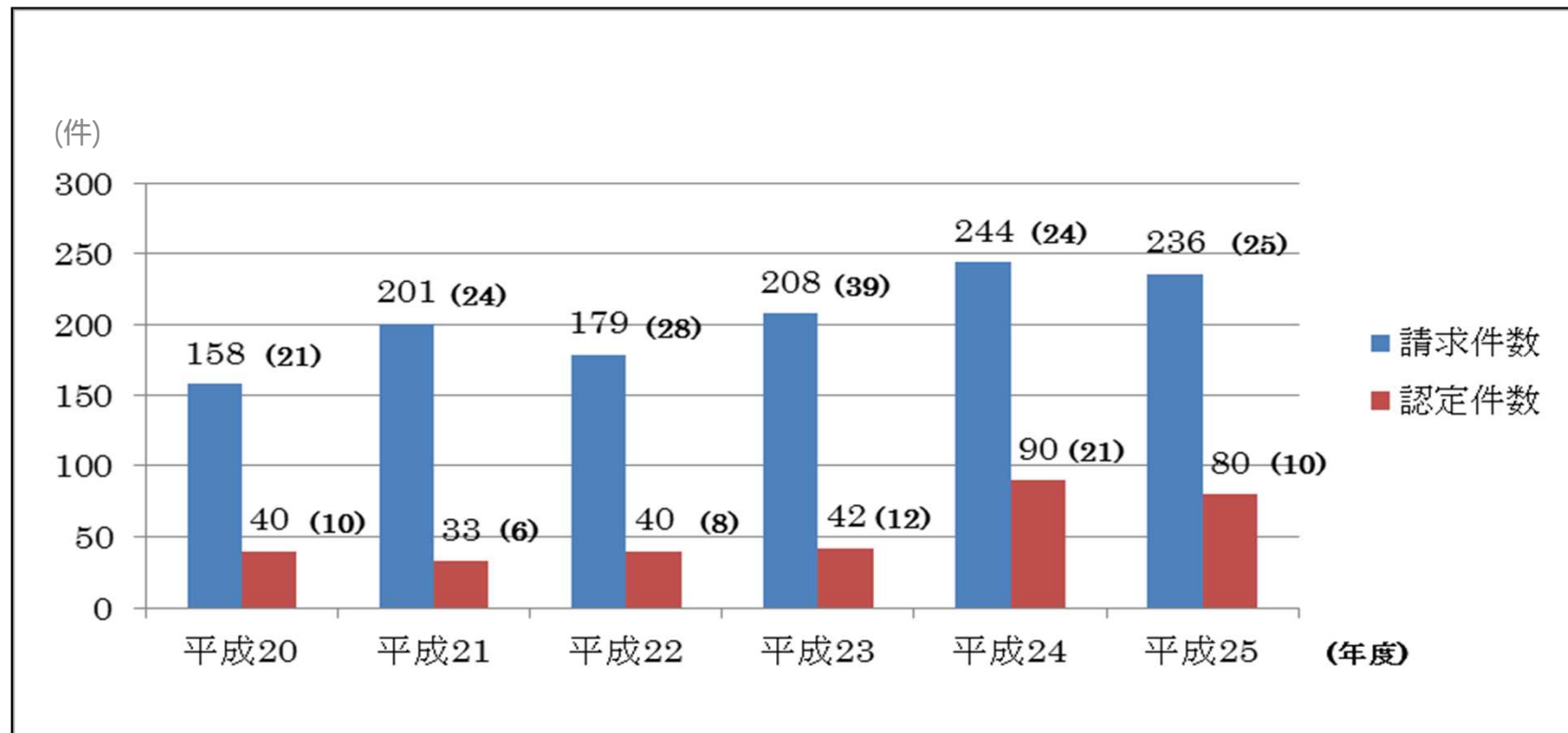
注：認定件数は当該年度に請求されたものに限るものではない。

東京における労働衛生の現状

精神障害等の労災補償状況

東京

精神障害等の労災補償状況



注：認定件数は当該年度に請求されたものに限るものではない。

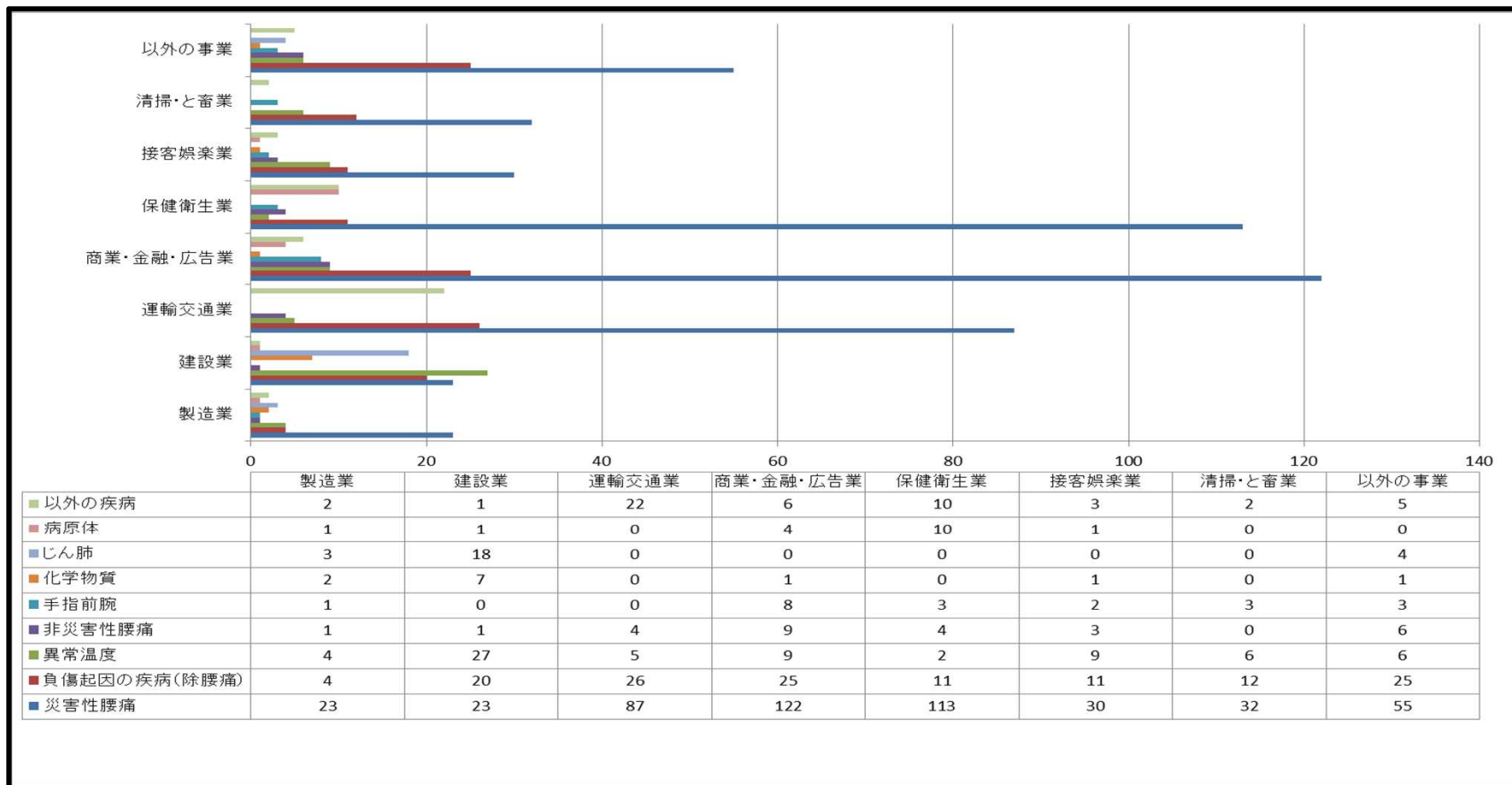
()内はうち自殺件数
(未遂も含む)

東京における労働衛生の現状

業種別・疾病別発生状況

東京

東京労働局管内の業務上疾病の発生状況を業種別に見ると、保健衛生業、商業・金融・広告業、運輸交通業に多く発生しています。「負傷に起因する疾病」の多くは、「災害性腰痛」で占められています。

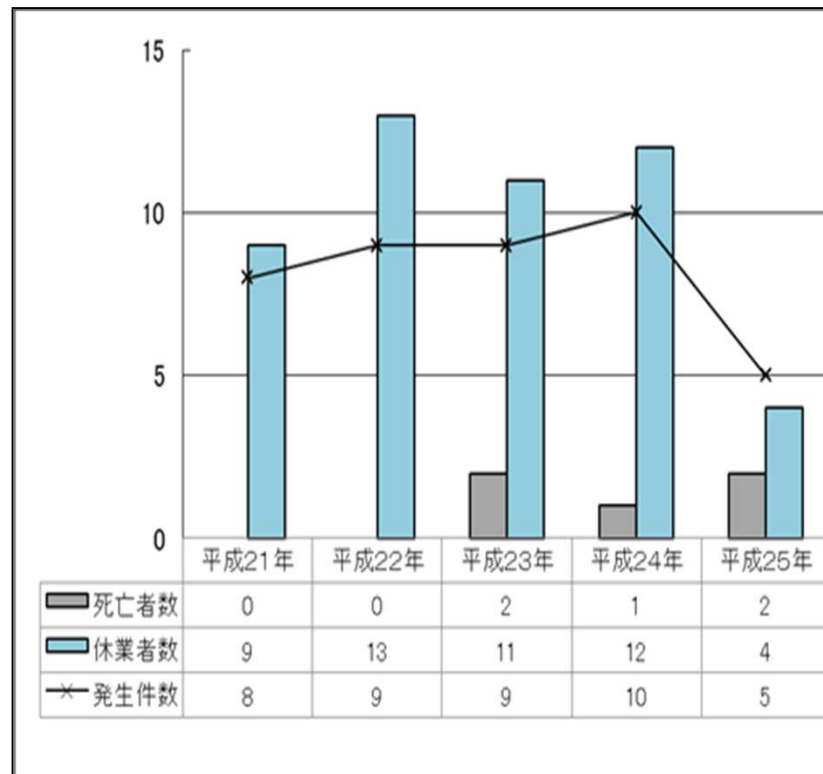


東京における労働衛生の現状

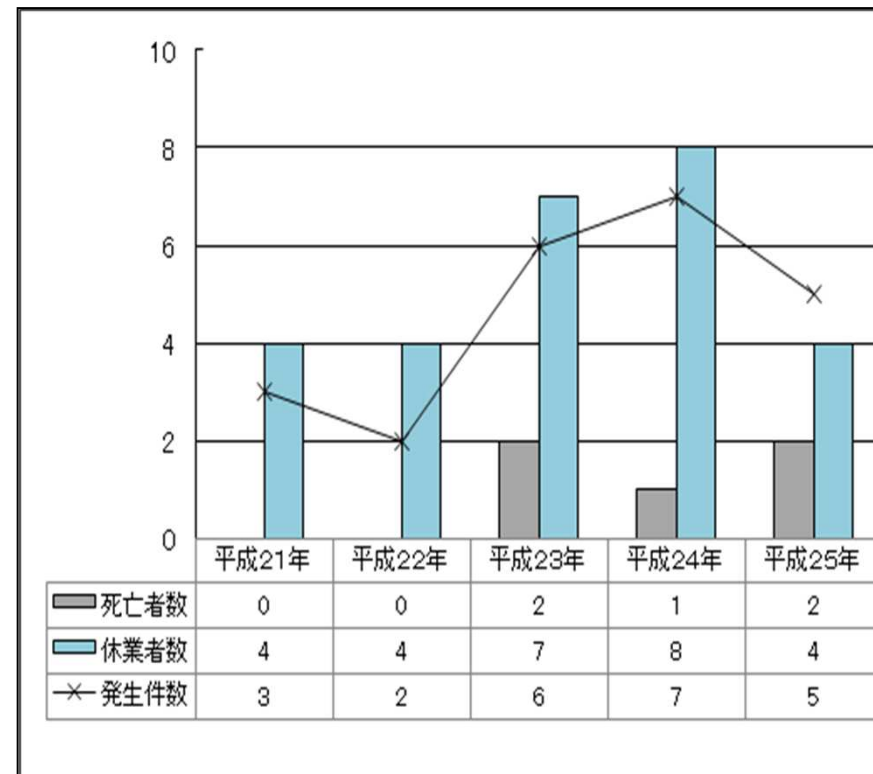
一酸化炭素中毒による労働災害の推移

平成25年の一酸化炭素中毒の発生件数は、ここ数年の高止まり傾向から一転して前年より5件減の5件発生に止まりましたが、建設業において2名の死亡者が発生しています。

(人)東京 全産業

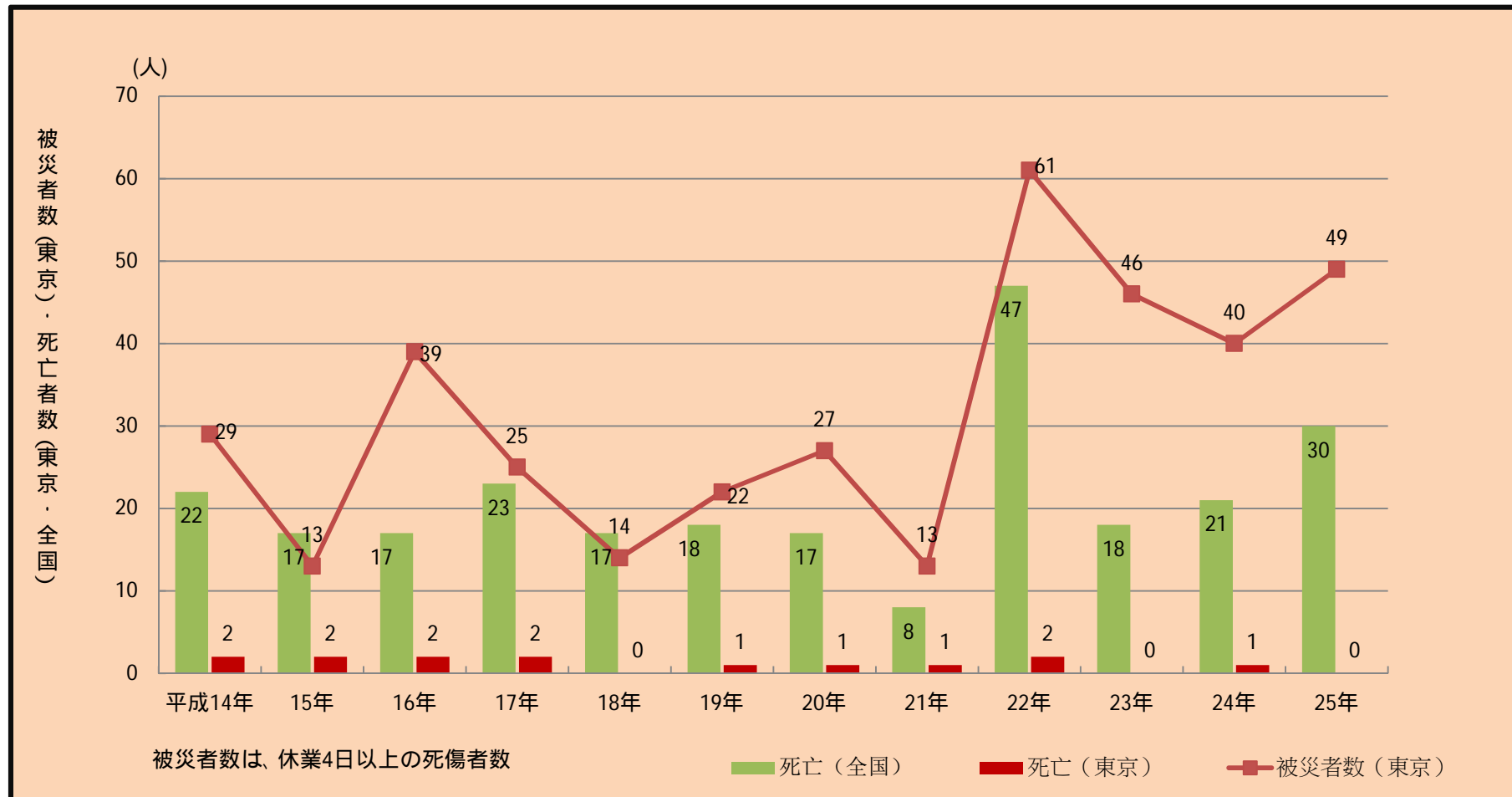


(人)東京 建設業



東京における労働衛生の現状

熱中症の発生状況の年別推移



東京における労働衛生の現状

熱中症の業種別発生状況

平成25年

